

松江道路

現状と課題

■ 松江道路の整備

松江道路は、国道9号の交通渋滞を緩和し、また「山陰道」の一部として高速交通ネットワークを形成します。平成13年3月に全線2車線で供用し、以降、4車線化を進めています。平成22年4月に新出雲郷大橋～矢田ランプ間(L=2.3km)、松江市玉湯町地内(現通拡幅部L=1.2km)の4車線化が完了しました。平成22年度は、東出雲IC～新出雲郷大橋付近間(L=1.2km)供用を目指します。

■ 主要渋滞箇所の解消

国道9号玉湯交差点は、県内で最も渋滞の著しい主要渋滞ポイントとして、朝夕の慢性的な渋滞が発生していました。このため、松江道路(玉湯工区)は渋滞緩和及び、交通安全の確保などを目的に事業を進めており、平成19年3月18日、バイパス部L=1.6kmについて供用し朝夕の渋滞はかなり緩和されました。なお、事業の透明性を高めるため、平成9年から住民参加による事業執行(PI方式)を導入し、景観にも配慮するなど街づくりとあわせた道路整備を行っています。

事業概要

■ 区間図



今年度の事業

松江道路完成に向け、橋梁工事及び改良工事を推進します。

Topic 4車線区間開通により渋滞が緩和

平成19年3月18日に玉湯工区(バイパス部)の1.6kmが開通したことにより、主要渋滞ポイントだった玉湯交差点の渋滞が緩和しました。



■ 上り線の渋滞

最大渋滞長は 4,800m → 500m(90%減少)
1km以上の渋滞発生時間帯は 70分 → 0分に解消

■ 下り線の渋滞

最大渋滞長は 1,600m → 100m(94%減少)
1km以上の渋滞発生時間帯は 30分 → 0分に解消
(平成19年3月22日の調査による速報値)

Topic 松江第五大橋道路の整備について

松江第五大橋道路は、国道431号バイパスと国道9号松江道路とを接続する延長5.2kmの地域高規格道路として計画され、都市機能の強化や渋滞の緩和などを目的として島根県により整備が進められています。

松江国道事務所では、このうち松江JCT及び国道9号接続部分の整備を島根県から受託して行っています。